

第十四回本郷ふじやま公園古民家歴史部会歴史散策(金沢八景)

平成 17 年 12 月 15 日

平成 18 年 09 月 07 日(木) 能見台駅前 10:10 集合 10:19 出発

雨天の場合は翌週 09 月 14 日(木)に順延します。

10:26 出発	10:46	10:50	12:00		
京急能見台駅バス停	京急シティー能見台西バス停	①六石峠ハイキングコース	②能見		
13:15	13:20	13:30	13:40	14:00	
堂跡《屋敷》	③浅間神社	④地藏様	⑤赤井温泉	⑥赤井山正法寺	⑦滝の不動明王
徒歩 30 分	14:30	14:40	15:00	15:20 解散	
赤井バス停	小泉バス停	⑧手子神社	〔⑨小泉の夜雨〕	小泉バス停	金沢文庫駅解散
9:29	10:00	10:15	10:19		

(参考) 公田一八景バス停ー京急八景駅ー京急能見台駅

一口メモ

①六石峠ハイキング

金沢自然公園から金沢文庫に至尾根道で整備されたハイキングコースです。今回は能見台四丁目ー(シティー能見台西バス停先通称水道塔)から入ります。

②能見堂跡 能見堂森

六石峠ハイキングコースの途中にあります、内海と平潟湾を一望出来るところで「金沢八景根元地」の碑があります。

中世から堂があった山上の平地。心越禅師がこの地より八景を配して詩を詠んだのが八景の始まりといわれています。

今回は③④を割愛能見堂から少し戻り釜利谷東 3-25 から町を下り赤井温泉に向かいます。

③浅間神社 谷津町 482

能見堂跡から六石峠ハイキングコースを下りきると文庫の町を 5 分ほど進み右手崖にある胸突き階段を登と、眼下に文庫の町並みが広がり京急の電車が行き交う、森の頂きに静かに祀られている赤い社が浅間神社があります。ここは安産の神様として知られ女性の参拝者が多い。境内から三浦半島や房総半島まで見渡せます。階段が危ないので割愛しました。

④地藏様 谷津町 482

浅間神社参道を下り暫く行くと右側に村人が祀ったのか可愛い地藏様が立っておられます。道筋を変更しましたので逆行となり残念ですが割愛します。

⑤赤井温泉 釜利谷東 3-9-51

鎌倉時代に発見され、戦で負傷した武士達の傷を治してきたと伝えられています。鉄分を含んだ茶褐色の湯が体と心をいやします。また、皮膚病・やけど・リュウマチ・婦人病に効果あり

と若い女性客や速く電車で通うファンも少なくないとのこと。

営業時間10:00~22:00 10:30~15:30休憩室利用で1200円 15:30~は銭湯で370円
但し 日曜は定休日です(祝日の場合は翌日)。

⑥赤井山正法寺 釜利谷東3-4

その昔、弘法大師が訪れて、日照りに悩む村人のため井戸を掘ったところ、赤い霊水がわき出たという。今も境内の脇に井戸の跡が残されています。

⑦滝の不動明王 釜利谷東3-4

本堂右手階段を上ったところに「滝の不動明王」が祀られています。右手に剣、左手に縄を持ち、にらみをきかせています。足下に小石が積まれています、一つもらって願い事をするとうとうといわれています、願いが叶ったら小石を増やしてお返しをしなければなりません。地元では赤井の不動様として親しまれています。

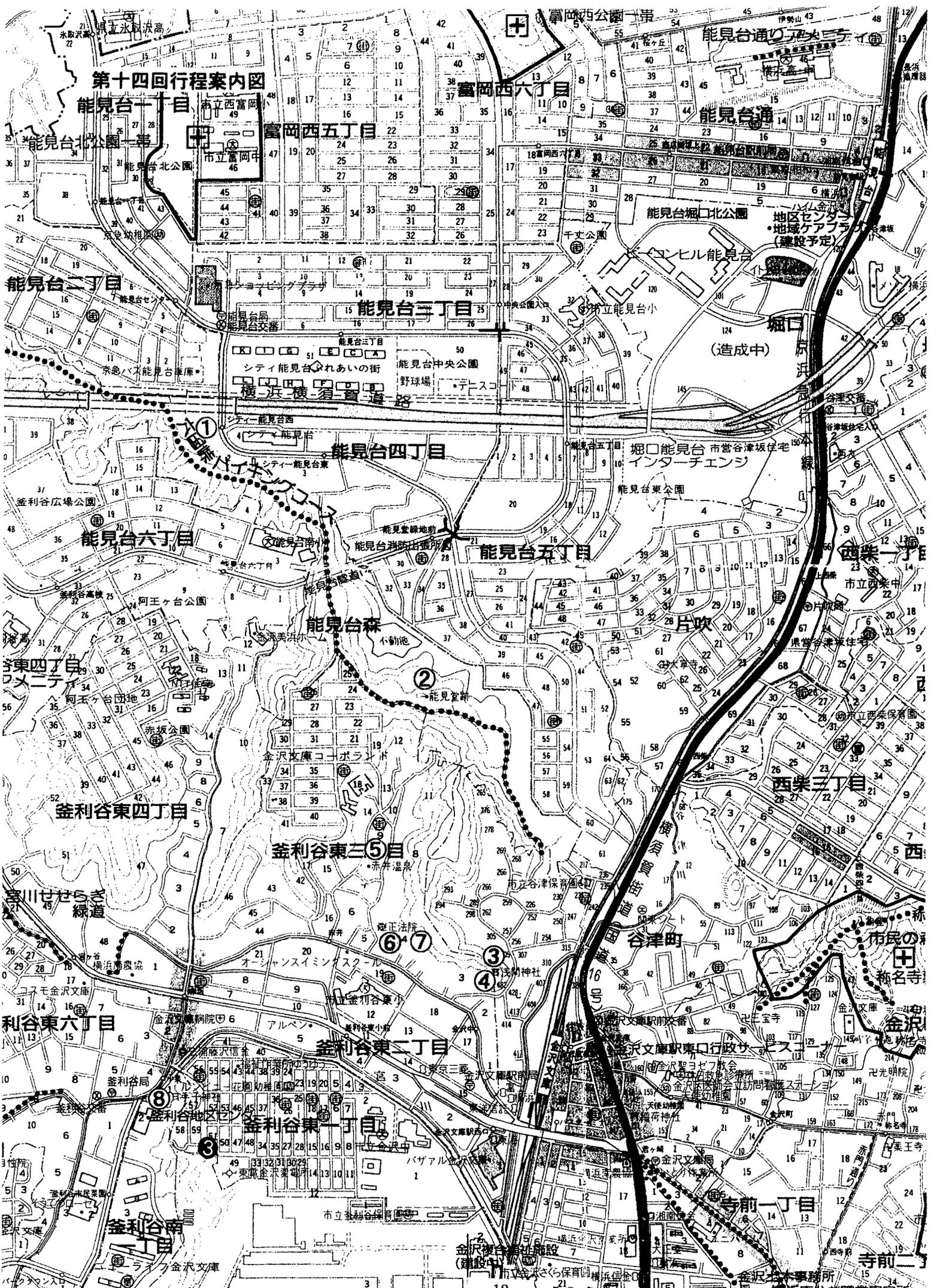
⑧手子神社 釜利谷東1-1

文明五年(1473)釜利谷領主伊丹左京亮が瀬戸神社から分霊して宮ヶ谷に勧請したのが始まり、その子孫三河守昌家の子が延宝七年(1679)に江戸浅草知楽院本蓮僧正によりこの地に遷祀、釜利谷の総鎮守となりました。小泉夜雨の簫松の下の祠であったが享保八年(1722)江戸の木島又右衛門政尚が玄峰和尚と共に釜利谷東3-25-2に石窟を穿ち遷宮、以後厄除・子授けの御利益ありと信仰をあつめ、昭和五十年現地に遷座しました。

⑨小泉の夜雨 釜利谷東1-51

手子神社から2・3分の裏山下の海べりであったが、山肌はコンクリートの土留めで固められ住宅街に変貌し面影は全くない、近くで尋ねたが石碑もなく誠に残念でした。

第十四回行程案内図



能見台一丁目

富岡西五丁目

富岡西六丁目

能見台通

能見台二丁目

能見台三丁目

能見台堀口北公園

地区センター
・地域ケアプラザ
(建設予定)

能見台中央公園

マンヒル能見台

堀口
(造成中)

能見台四丁目

能見台五丁目

能見台六丁目

能見台森

西柴一丁目

宇東四丁目

金沢東三丁目

西柴三丁目

金沢東四丁目

金沢東六丁目

金沢東二丁目

金沢東一丁目

金沢南

寺前一丁目

寺前二丁目